

フェンススタイル (たて格子)・R納まり 施工説明書

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、本説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- 本説明書は施工後必ず施工主様へお渡しください。

施工時の注意事項	施工にあたっては次の点をご確認ください。
<ul style="list-style-type: none"> ●モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますので使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。 ●モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。 ●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。 ●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触部分を完全に養生してください。 ●埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。 ●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。 ●輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。 ●基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置決めしてください。また、寒冷地はその地域にあった基礎工事を行ってください。 ●地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。 ●養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。 ●支柱の水抜き穴をモルタル等で塞がないでください。 ●屋上や沿岸に面した非常に風当りの強い場所等には設置しないでください。 ●改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。
	<ul style="list-style-type: none"> ●本体に乗ったり、揺すったりしないでください。 ●本商品は隣地境界等の目的に設置するものです。防護柵や手すり等に使用しないでください。 ●雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。 ●製品に電線等を直接載せないでください。 ●各ボルト・ビス類は、確実に締付けてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●無理にボルト・ビスを締付けしないでください。破損の原因となります。 ●ラミネート格子・ポリカーボネートの近くで、殺虫剤・除草剤を使用しないでください。有機系・石油系の物質が付着すると、パネルの変色やムラ、変形、割れを生じることがあります。 	

もくじ

梱包明細.....	1	3. 柱の設置と胴縁の取付け.....	5
納まり図.....	2	4. 格子の取付け.....	7
柱配置図.....	3	5. 胴縁カバーの取付け.....	7
1. ヒンジ角度の調整.....	4	施工工事店様、販売店様へのお願い.....	8
2. 柱部品の仮止め.....	5		

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包名称	梱包内容	表内の（ ）は個数を示しています。
縦格子部材	3本入り	縦格子 (3)
	2本入り	縦格子 (2)
縦格子柱		縦格子柱 (1)
胴縁セット		R 胴縁 (上下各 1)・胴縁カバー (端部用) (4)・胴縁カバー (中間部用) (2) φ4×12 トラスタッピン 3 種 (10[2]*1)・施工説明書 [ME-1909] (1)
胴縁ジョイント	2 個入り	胴縁ジョイント部品 (2)・φ4×25 トラスタッピン 3 種 (4)・φ4×12 トラスタッピン 3 種 (8)
胴縁エンド	4 個入り	胴縁エンド (左右各 2) φ4×25 トラスタッピン 3 種 (8)・φ4×12 トラスタッピン 3 種 (8)・施工説明書 [ME-1793] (1)

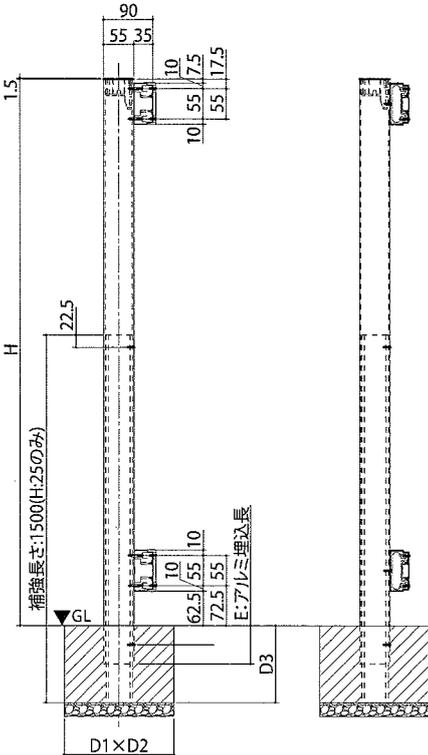
*1: [] 内は予備数を示しています。

納まり図

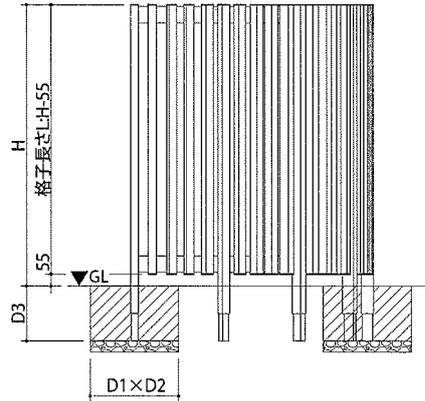
- ここでは、出隅・入隅 90°・H2500 を例として示しています。
- 直線フェンスと連結する場合は、直線と R の連結部となる柱の基礎寸法は、[ME-1793] を参照してください。

出隅納まり

●縦断面図



●基本納まり図



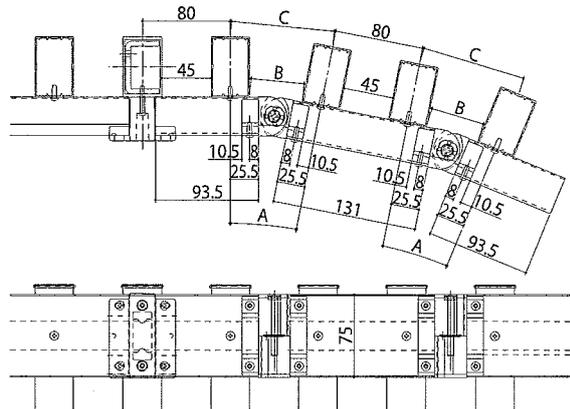
●寸法一覧表

R 角度	A (°)	B (mm)	C (mm)
60°	15	49.4	98.2
90°	11.25	48.4	93.8
120°	7.5	47.3	89.3
150°	3.75	46.2	84.7

(mm)

呼称 サイズ	D1	D2	D3	E
H1200	350	350	150	
H1500	250	250	300	
H1800	250	250	400	
H2000	250	250	400	
H2500	250	250	500	250

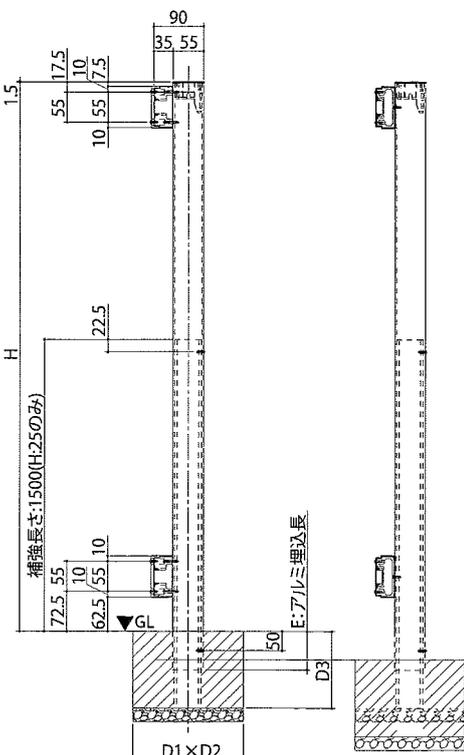
●連結部詳細図



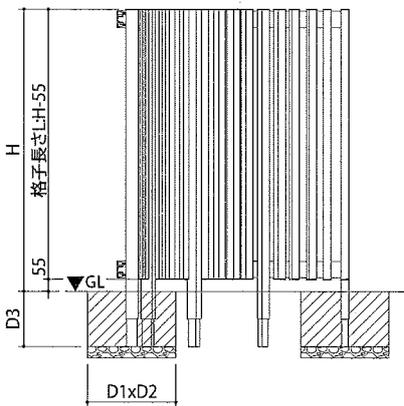
ME1909-101

入隅納まり

●縦断面図



●基本納まり図



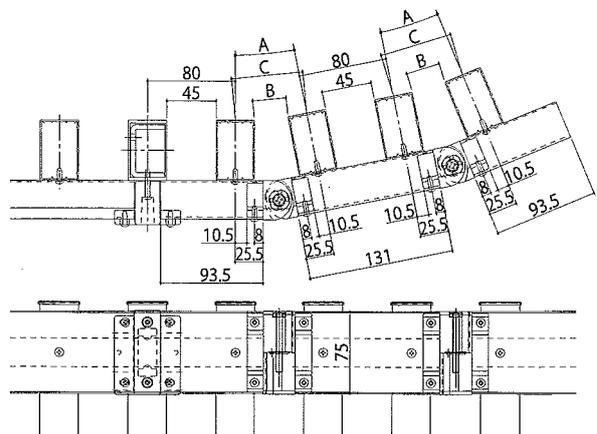
●寸法一覧表

R 角度	A (°)	B (mm)	C (mm)
60°	15	25.7	60.4
90°	11.25	30.6	65.4
120°	7.5	35.4	70.1
150°	3.75	40.2	75.2

(mm)

呼称 サイズ	D1	D2	D3	E
H1200	350	350	150	
H1500	250	250	300	
H1800	250	250	400	
H2000	250	250	400	
H2500	250	250	500	250

●連結部詳細図



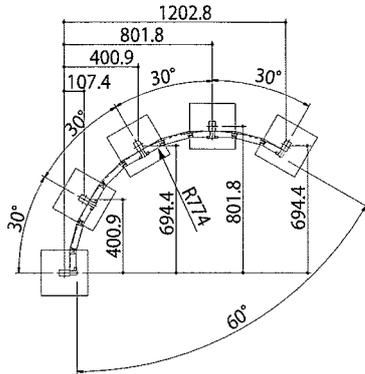
ME1909-102

柱配置図

- 地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
- 出荷時は、出隅 90° 用に設定されています。

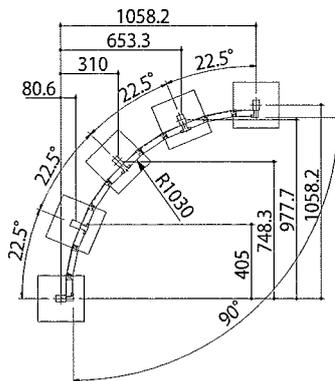
出隅納まり

●出隅 60°



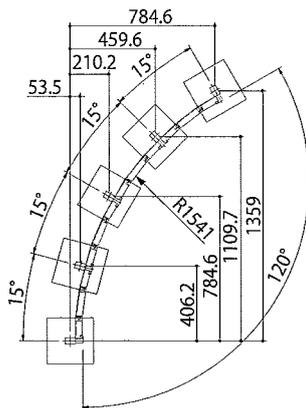
ME1909-h04

●出隅 90°



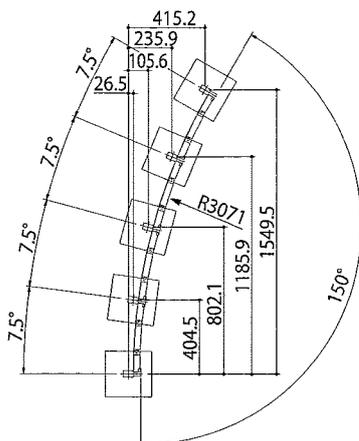
ME1909-h03

●出隅 120°



ME1909-h02

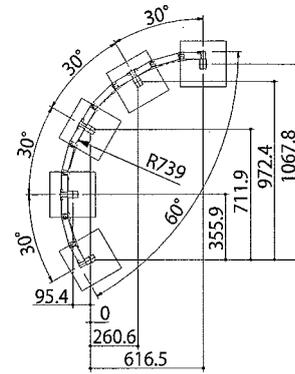
●出隅 150°



ME1909-h01

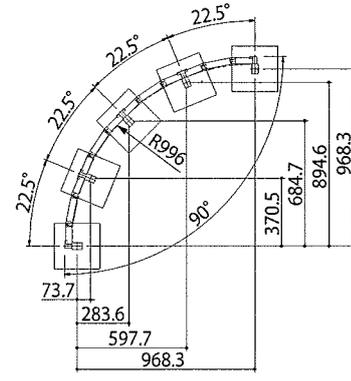
入隅納まり

●入隅 60°



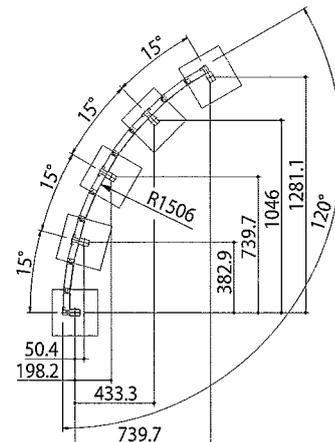
ME1909-h08

●入隅 90°



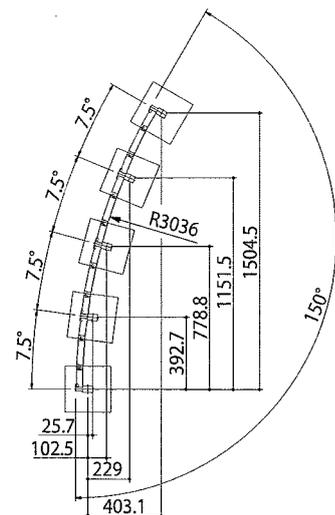
ME1909-h07

●入隅 120°



ME1909-h06

●入隅 150°



ME1909-h05

1

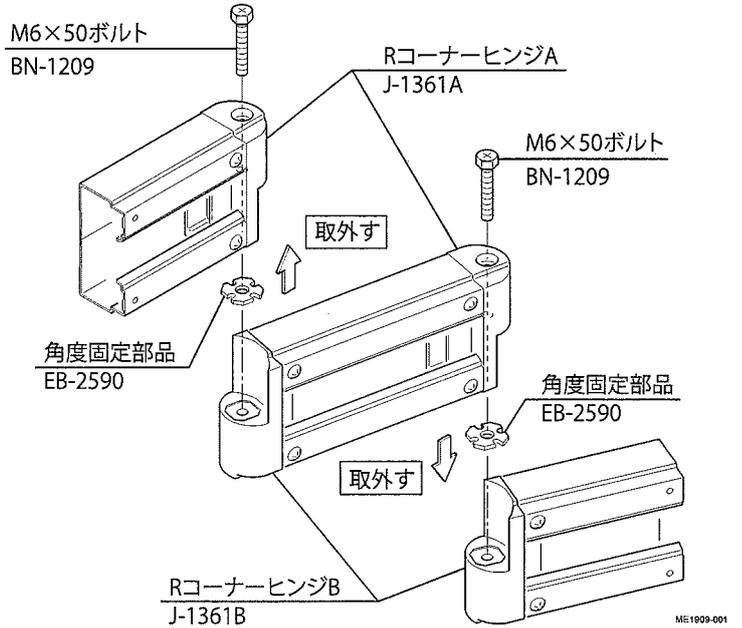
ヒンジ角度の調整

- 出荷時は、出隅 90° 用に設定されています。
- 調整が必要な場合には、下記の手順で行ってください。



- 出荷時は、出隅 90° 用に設定されています。
- 必要に応じて、ヒンジ角度を調整してください。

① M6 ボルトを取外して、R コーナーヒンジをバラしてください。



② 図を参照して、角度固定部品の刻印を設定したい角度に合わせ、R コーナーヒンジ B にはめ込んでください。

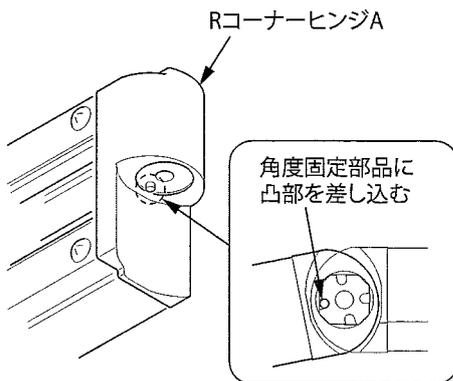
③ 入隅の場合は、角度固定部品をさらに反転させてはめ込んでください。

④ 再び、R コーナーヒンジを組立ててください。



R コーナーヒンジ A の凸部を角度固定部品に確実に差し込んでください。

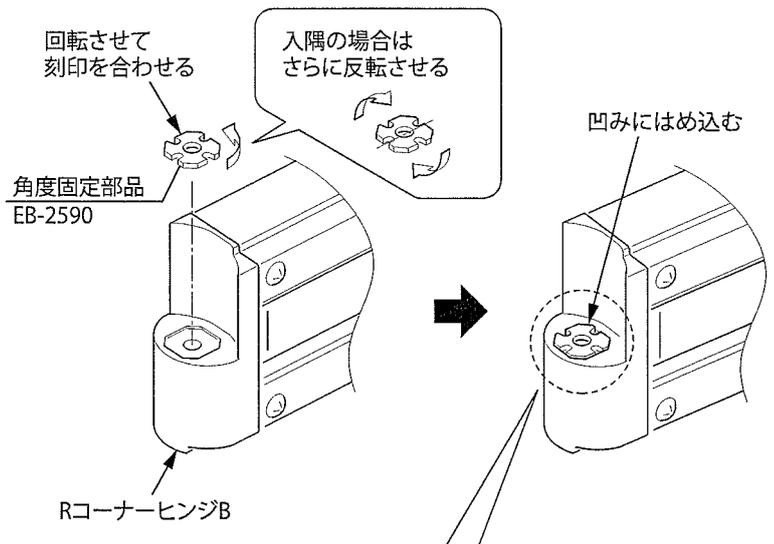
●下から見る



ME1909-003

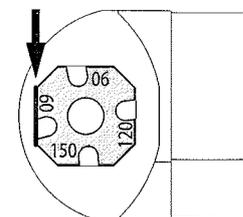


角度調整をする場合は、全てのR コーナーヒンジを、同じ角度で設定してください。



●出隅の場合

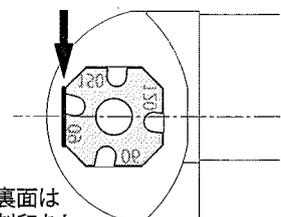
※このラインに刻印を合わせる



出隅60°の例

●入隅の場合

※このラインに刻印を合わせ、さらに反転させる



入隅60°の例

2

柱部品の仮止め

●「フェンススタイル (たて格子)」の施工説明書 [ME-1793] を参照して行ってください。

① [ME-1793] を参照して、柱に胴縁エンドおよび胴縁ジョイント部品を仮止めしてください。

3

柱の設置と胴縁の取付け

●3ページの「柱配置図」を合わせて参照してください。

① 3ページの「柱配置図」で、柱の位置を確認してください。

② 指定寸法の基礎穴を掘ってください。

! 以下、端部から順に「手順③～⑤」を繰り返して、全ての柱を立ててください。

③ 基礎穴に柱を立ててください。

④ 胴縁を胴縁エンド・胴縁ジョイント部品に差し込んでください。

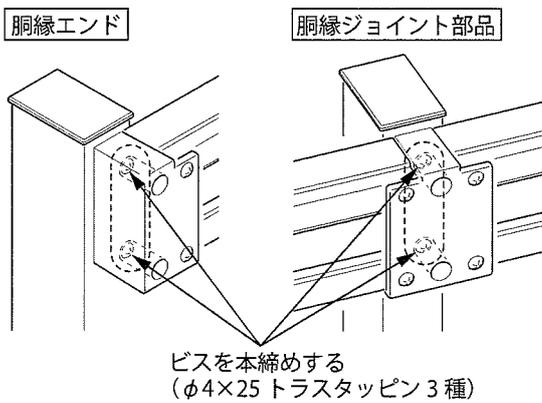
! 上・下胴縁を間違えないようにしてください。

⑤ 仮止めしている胴縁エンド・胴縁ジョイント部品の取付ビスを本締めしてください。

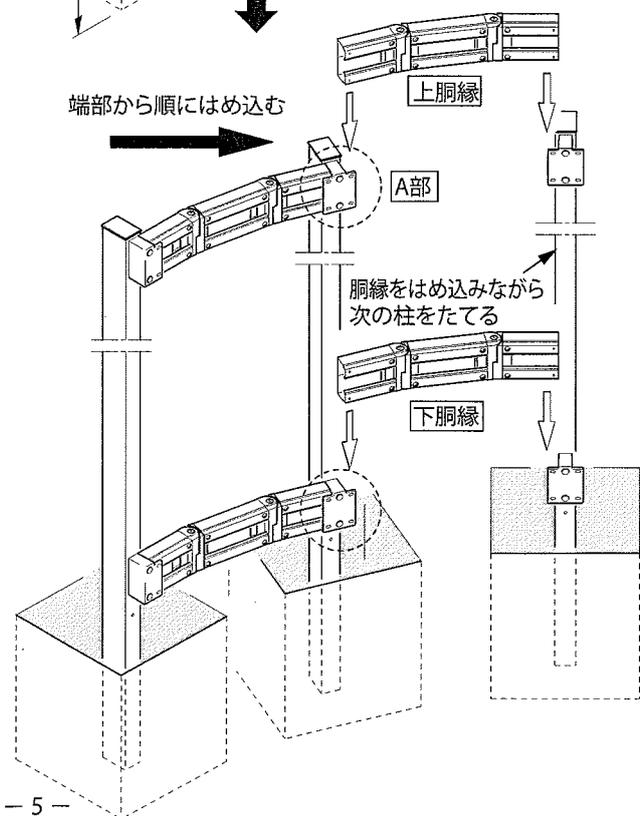
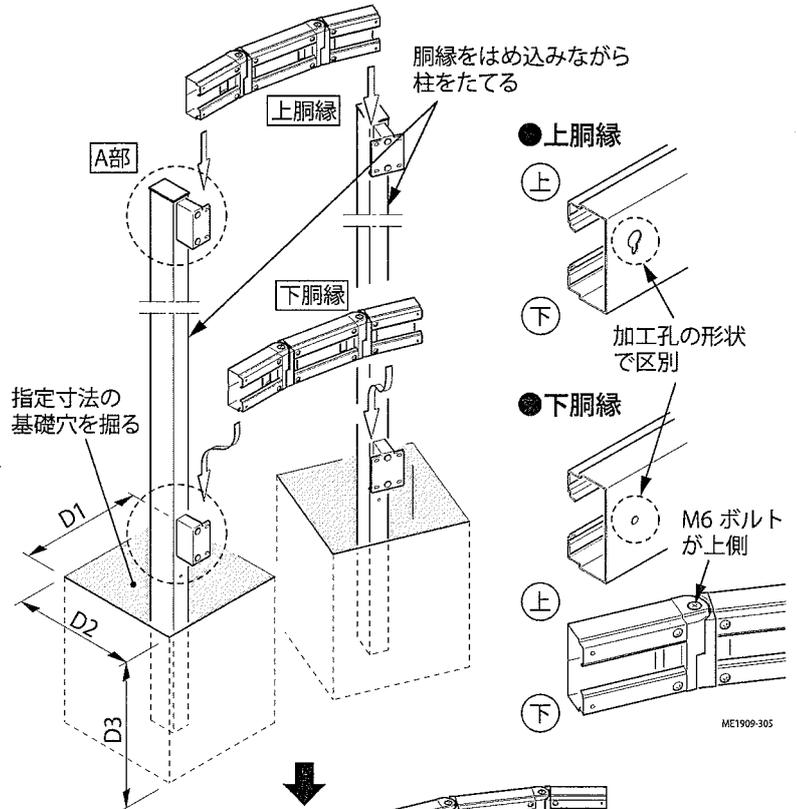
! 胴縁を固定すると、柱の角度が決まります。

! ビスを確実に固定してください。

● A部拡大図：ビスの本締め



ME1909-304



柱の設置と胴縁の取付け

⑥前ページの「手順③～⑤」を繰り返して、全ての柱を立ててください。



必要に応じて、R コーナーヒンジの M6 ボルトを緩めて、柱位置を微調整してください。
(M6 ボルトの位置は 4 ページ参照)

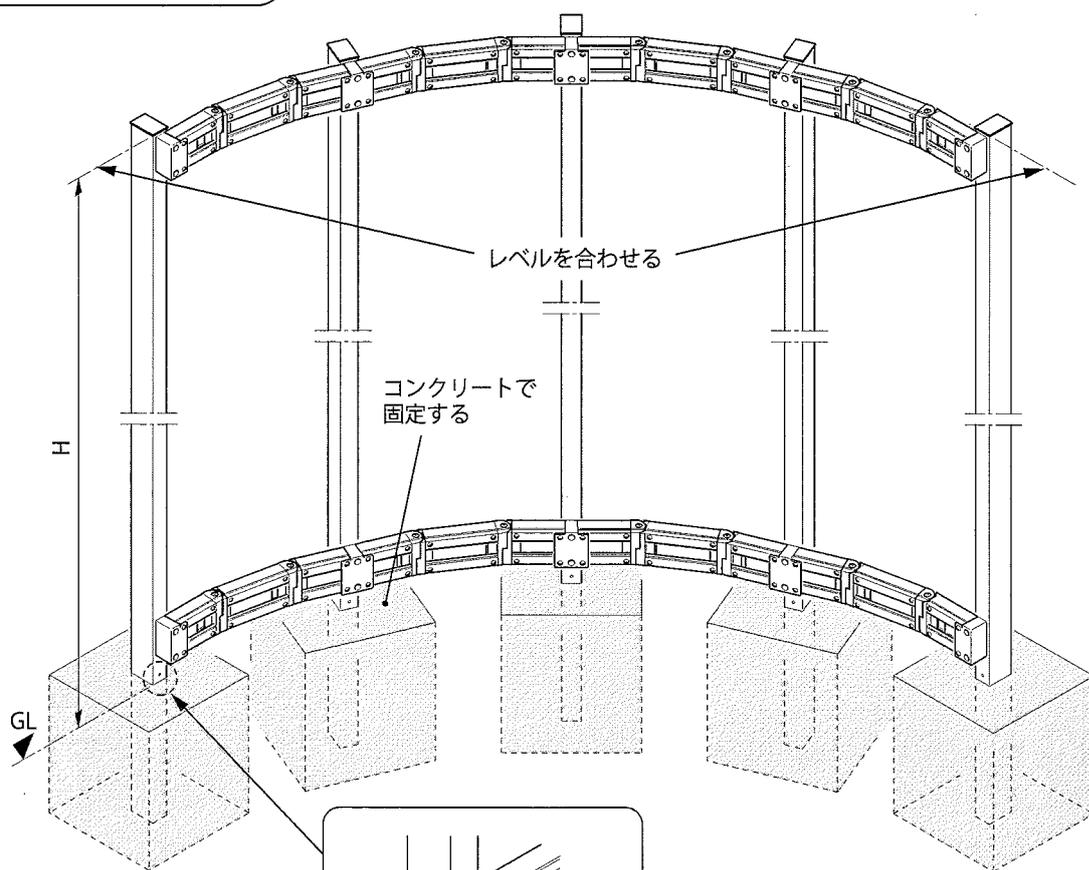


全体の調整後、M6 ボルトを確実に締付けてください。

⑦柱をコンクリートで固定してください。



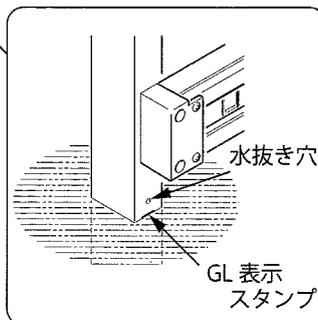
水平・垂直レベルを合わせてください。



水抜き穴をモルタルでふさがないように注意してください。
※凍結破損の原因となります。



GL 表示スタンプを目安にしてください。



ME1909-303

4

格子の取付け

- 「フェンススタイル (たて格子)」の施工説明書 [ME-1793] を参照して、35 × 55 格子を取付けてください。

① [ME-1793] を参照して、胴縁に格子を取付けてください。

5

胴縁カバーの取付け



取付前に、格子の取付けが完了していることを確認してください。

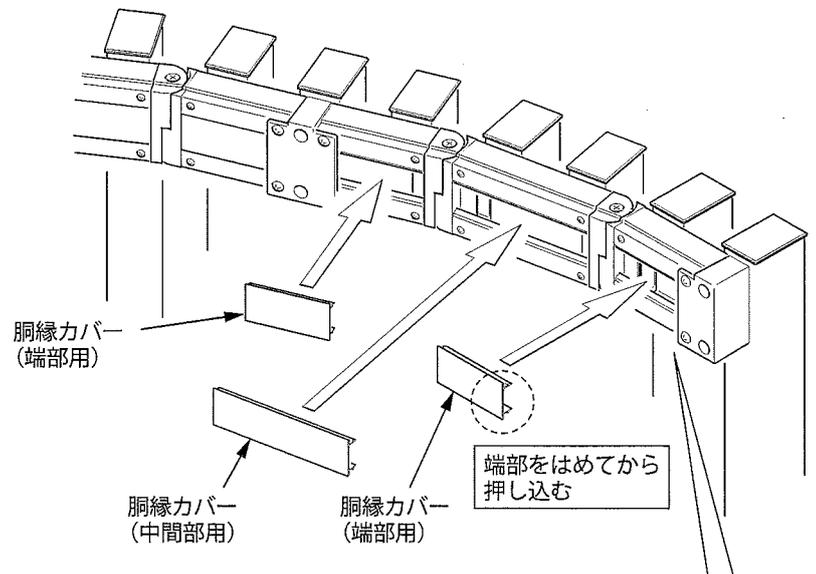
※胴縁カバーの取付後は、格子を取付けることができません。

① 胴縁カバーを胴縁にはめ込んでください。

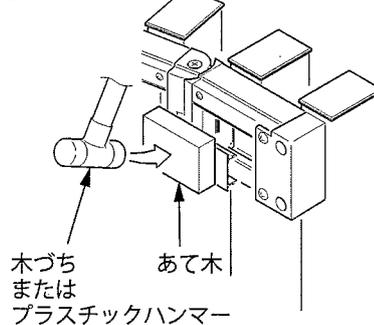


● 胴縁カバーの端部をはめてから押し込んでください。

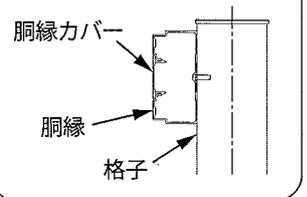
● はめ込みがきつい場合は、胴縁カバーにあて木をあて、木づちなどでたたき込んでください。



● きつい場合



● 取付部断面図



ME1909-501

■施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- 本説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施 工 完 了 日	年	月	日
施 工 工 事 店			
販 売 店			

商品へのお問合せは・・・

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談室

 0120-37-2534